

総務文教常任委員会（9月13日）

【生涯学習課】

1 日 時 令和元年9月13日（金）午前10時20分～午前11時00分

1 説明のため出席した者

清水事務局長、中村生涯学習課長、宮山同課課長補佐、水上同課文化振興GL、天木同課生涯学習SL、多田スポーツ振興室長、嶋田同室GL、乾図書館長、三村同館SL

1 諸般の報告（清水事務局長）

(1) 結の故郷ふるさと教育推進計画の取組状況について

教育委員会では、平成28年3月に「結の故郷ふるさと教育推進計画」を策定し、家庭教育力及び地域教育力の向上を図るため、事業を進めている。

去る8月1日に、各公民館が主体となり、市内小学6年生を対象に、今年度で3年目となる「わたしたちのふるさとをめぐるツアー」を開催し、今年度は、7校より21名の参加があった。

大野地区では、善導寺をはじめとしたお寺めぐりとCOCONOアートプレイス見学の後、JR越美北線で和泉地区へ移動し、和泉郷土資料館を見学した後、午後は、大野市化石発掘体験センター「ホロッサ」で化石発掘体験を行い、五箇地区では、中部縦貫自動車道工事現場を見学した。

また、8月13日に学びの里「めいりん」講堂で開催した、小学生ふるさと芸能発表会では、しぐさ踊りなど5つの芸能発表を行い、総勢68名の児童が日ごろの練習の成果を発表し、大きな声援をいただいた。

(2) 「大野へかえろう」事業について

8月3日から8月18日まで、お盆の帰省時期に合わせて、市民ホールにおいて「大野へかえろう展」と「昭和のこどもたち写真パネル展」を開催した。

「大野へかえろう展」では、過去4年間の事業成果として、大野ポスター展で制作されたポスター合計92枚や楽曲、写真集、大野大人図鑑、プロジェクトムービーを展示し、「昭和のこどもたち写真パネル展」では、福井県出身の人形作家、石井美千子氏の新たな額装写真作品20点を展示し、市民の皆様に楽しんでいただいた。

(3) COCONOアートプレイスについて

7月13日から始まった個人コレクション展現代日本画「若き日の画家たちに夢を乗せ」は、9月23日まで開催しており、8月23日には、COCONOアートプレイスを設計した中西ひろむ氏を迎えて、「建築を語る夕べ」と題し、古建築から現代建築まで、建築に関する幅広い

話題や、COCONOアートプレイスの建築計画時のエピソードなどを話していただいた。

8月13日から16日までのおおの城まつり期間中には、博物館8館などと併せて入館料を無料としたが、台風10号によるあいにくの悪天候とそれに伴うイベントの中止などにより、入館者数は600人程度にとどまった。

今後は、市民や作家の協力を得て、市民所有の絵画展や本市にゆかりのある美術工芸作家などの企画展を開催するとともに、新規入館者やリピーターの確保等に努めていく。

(4) エキサイト広場について

7月20日から9月1日までの期間、市民が気軽に集い、快適に遊べる場所として利用いただこうと、小学生以下の子どもやその親子、65歳以上の高齢者を対象にエキサイト広場内の一部の施設を試験的に無料開放した。今回、無料開放したのは、1階ロビーと2階和室、そしてアリーナ及び大屋根広場で、アリーナと大屋根広場は通常利用者が多いため、水曜日などの休館日のみとした。この無料開放による利用者は延べ136人となり、その大半が友だち連れの小学生や小学生未満の親子連れの方々であった。

また、8月には、エキサイト広場トレーニングルームにランニングマシン2台と筋トレマシン1台を導入した。導入後は、これらの新しい機器がよく利用されており、新たなトレーニングルーム利用者も見かけるようになった。

(5) 生涯スポーツ優良団体表彰について

このたび、県スポーツ課を通じて、大野市相撲連盟の文部科学省令和元年度生涯スポーツ優良団体表彰受賞が決定した旨の通知があった。福井しあわせ元気国体において、本市で相撲競技が実施された際には大いにご尽力をいただいた。今回の受賞については、教室の開催による相撲の指導、市小学生相撲選手権大会やわんぱく相撲の開催など、長年にわたり競技の普及や魅力を発信してこられたことが評価されたもの。

1 その他の事項

(1) 「第40回大野市美術展の開催案内」について。

40回の節目の年を迎え、第40回大野市美術展を10月2日から10月6日の会期で開催する。記念イベントとして、10月5日に体験教室の開催、10月6日には福井大学教授の湊七雄氏を招き講演をいただく。

会場を越前まちなか交流センターから結とぴあ多目的ホールに移し、一同に作品の展示を行う。

また、市民を対象に、若い世代の育成や文化の創造に繋げることを目的とした結の故郷賞3点を新設した。議員各位にご覧いただきたく案内させていただきます。

白崎委員 エキサイト広場の無料開放日には平均で何人くらいが利用していたか。

答 弁 多い日は10人を超え、少ない日はゼロという日もあり、平均では申し上げにくい。

白崎委員 来年度以降も実施するのか。特に経費がかかるものでもないので継続を検討されたい。

答 弁 前向きに検討する。

廣瀬委員 冬休み中のエキサイト広場の無料開放は行わないのか。

答 弁 未定である。今後検討する。

廣瀬委員 前向きに願います。

高岡委員長 生涯学習のカリキュラムとしていろいろな教室があるが、それに参加している人数の推移はどうなっているのか。増えているのか。減っているのか。

答 弁 参加者数は、横ばいの事業もあれば減少している事業もある。

高岡委員長 高齢者が増えているにもかかわらず参加者が減少しているのはなぜか。おもしろくないのか。

答 弁 講師も参加者も高齢になっていることやメニューがマンネリ化していることで減っているのではないかと思われる。

高岡委員長 カリキュラムに興味があるものを取り入れるべきである。

答 弁 講座によって参加者の多いものや少ないものがあるため、新しい講座を取り入れていきたい。

高岡委員長 他市町では、講座を半年続けても参加者が少ない場合は講師をクビにされているところもある。参加者が多くなるよう考えていくこと。

梅林委員 指導者の登録者の推移はどうなっているか。

答 弁 新規の方が少々、登録したが高齢の方がやめているため若干減少している。

梅林委員 新規登録者数は。

答 弁 令和元年度は6名である。

梅林委員 年齢層は。

答 弁 30代から60代である。

梅林委員 ますみ会の事業などは長く続けられており、市民の声を聴くととても助かっているとのことである。今後も続けていただきたいが、新規指導者の発掘についてはどのように行っているのか。

答 弁 いろいろな先生方からの情報や口コミにより、こちらから登録依頼に赴いている。若い方に関心を持ってもらって受講してもらう必要があるので新規登録者の発掘に努めてもらいたい。

梅林委員 現役世代交流促進事業補助の予算が今年度で廃止された。3年間ということかもしれないが、段階的に状況を見ながら一人当たり2000円補助していたのを半分の1000円にするなど減らしていくような方法を取って継続することはできなかったのか。市民にとって身近な事業がなくなってしまうのは不安である。

答 弁 3年間だから廃止したということではない。当初は同窓会において学習会を開催することが条件だったが、その後、アンケートに回答していただくことを条件とし、そのアンケート結果を分析しても、交流人口の増加や移住、定住への効果がみられず、事業の見直しの中で廃止とすることを決めた。

梅林委員 COCONOアートプレイスの駐車場はどこか。

答 弁 元町駐車場と土曜日、日曜日は福邦銀行の駐車場である。

梅林委員 元町駐車場は何台とめられるのか。

答 弁 正確には把握していないが30台弱である。

梅林委員 COCONOアートプレイスに駐車場の案内看板を置くなど工夫しているのか。

答 弁 現在は行っていない。

梅林委員 良いギャラリーを造ったので、もっと立ち寄ってもらえるよう見える形で工夫してほしい。

答 弁 前向きに取り組む。

高岡委員長 先の議会の教育長の答弁にて第40回大野市美術展は多くの出展者を集め式典を盛大に行うと聞いている。結の故郷賞は今年度で終わりなのか。

答 弁 市民限定で若い人や経験の浅い人の発掘を目的としているため、継続予定である。

高岡委員長 第40回の出展者は増えているのか。

答 弁 出展については募集要項があり、9月28日の搬入の際に申込みいただく。先日、市内の高校に出向き出品依頼を行った。

高岡委員長 昨年の出品者数は。

答 弁 271点である。

高岡委員長 5部門の総計か。

答 弁 そうである。

高岡委員長 出展数は大いに期待できるのか。

答 弁 増加するよう努めていく。

高岡委員長 開催日まで1ヵ月を切っている。文化・芸術の底上げに繋がるよう実施してる事業である。毎年出展者が増えていて第40回は500点を見込んで450点でしたとなるようならよいが、期待している。

【文化財課】

1 日 時 令和元年9月13日（金）午前11時00分～午前11時22分

1 説明のため出席した者

清水事務局長、佐々木文化財課長、林同課課長補佐（GL）、辻同課（SL）

1 諸般の報告（清水事務局長）

（1）民俗博物館整備事業について

6月補正予算でお認めいただきました大野市民俗資料館の移設につきましては、6月議会終了後、柳廻社と協議を実施しておりますが、曳家による移設、境内への工事車両の乗り入れ等につきまして了解を得られていない状況です。

当初予定しておりました事業期間の遅延等が見込まれることから、先般、国土交通省近畿地方整備局に、事業期間の延長について説明したところです。

今後は、柳廻社と引き続き誠意をもって協議させていただきたいと考えています。

あわせまして国・県の指導のもと、事業の遂行に努めてまいりたいと考えております。

（2）和泉郷土資料館と大野市歴史博物館の企画展について

和泉地区にある主に化石を展示している和泉郷土資料館におきまして、7月19日（金）から11月4日（月）まで企画展「おおの恐竜発掘—新発見への挑戦—」を開催しています。

本企画展では、日本最古級のティラノサウルス類化石の発見地である大野市の恐竜化石発見の歴史と最新の調査研究による新発見などについて所蔵資料や借用資料など実物を展示しています。

期間中は、関連事業として学芸員による展示解説や化石レプリカづくり、地層観察会なども実施しました。

また、大野市の原始時代から明治維新ごろまでの歴史を紹介している大野市歴史博物館において、企画展「藩政改革の光と影」を8月10日（土）から11月4日（月）まで開催しています。

企画展では天保13年（1842）の土井利忠の更始（こうし）の令（れい）に始まる大野藩の藩政改革の成功面とその裏側のあつれきを、残された資料とパネルで紹介します。

関連事業として、学芸員による展示解説なども実施しております。

8月13日から16日までのおおの城まつり期間中には、両企画展の入館料を無料としましたが、台風10号によるあいにくの悪天候とそれに伴うイベントの中止などにより、歴史博物館の入館者数は約200人、和泉郷土資料館の入館者数は約90人とどまりました。

今後も継続して企画展をPRし、入館者の増加に努めてまいります。

（3）大野市文化財保存活用地域計画について

本計画の策定に当たっては、策定協議会を設置し、内容を協議することとしており、現在、市民を対象に大野市文化財保存活用地域計画策定協議会の委員を公募しております。

そのほかの委員と致しましては、大学教授や福井県の学芸員など文化財の専門家のほか、観光協会や商工会議所など、文化財の保存と活用に関係する方々に委嘱することとしております。

本年度は2回の協議会を開催し、本市の自然的・社会的背景や歴史的背景をとりまとめ、現在把握している文化財をリスト化するなど計画の基本となる部分の素案をとりまとめて参ります。

協議会開催後は、会議の要旨をとりまとめ市のホームページで公開し、協議の進捗状況などについて周知していきたいと考えております。

1 意見（質疑）及び答弁

榮 委員 歴史博物館と和泉郷土資料館で企画展を実施しているとのことだが、城まつり無料期間中、また無料期間を終えた後これまでの入館者数はどうなっているか。

答 弁 歴史博物館の企画展は、8月10日のオープンから8月31日までの入館者数は、299人。和泉郷土資料館は7月19日のオープンから8月31日までの入館者数が611人。歴史博物館の無料期間中は平均約50人、無料期間外は一桁から10人程度となっている。和泉郷土資料館の無料期間中は、平均約20人で、無料期間外もほぼ同じ人数が訪れている。和泉郷土資料館では化石の展示を行っているため、夏休み期間中に親子での入館があるため、歴史博物館とは違う傾向になっていると考えている。

白崎委員 無料開放期間に全ての施設をまわらせていただいた。各館で団扇を配布すると聞いていたがなかったように思う。施設によっては冷房が無く、非常に暑い思いで観覧されていた方もいたのではと思う。暑さ対策をお願いしたい。

答 弁 商工観光振興課や城まつり実行委員会と連携して団扇を配布している。施設によっては冷房の設置が難しいところもある。入館された方が快適に観覧できるような展示を行うなど努めていきたい。

白崎委員 民俗資料館の整備について、柳廻社から境内への工事車両の進入の了解が得られていないとのことだが、無理であればそもそも民俗資料館の移築は無理なのではないか。

答 弁 現時点では敷地へ立ち入る許可が得られていない。実施設計業務での立ち入りも許可されていない状態。今後誠意を持って協議させていただく。

白崎委員 協議と言うが、物事が前に進む協議なのか、それとも教育委員会が一方的にお願いだけしている進展の無い協議なのか。

答 弁 神木や鳥居の原状復帰など、市から柳廻社に提案する形での協議であり、話を前に進めていきたい。

廣瀬委員 民俗資料館の移設期間が延びると、当初50%と聞いていた国の補助はどうなるのか。補助率は50%のまま期間の延長を国に申し出たとの理解でいいのか。

答 弁 国へは期間の延長の説明をおこなった。補助率は50%のままである。

廣瀬委員 協議の期限はいつごろと考えているのか。

答 弁 国へは事業期間を2年間延長したい旨、説明した。

廣瀬委員 延長した期間内で、事業が完了できるよう頑張ってもらいたい。

- 梅林委員 大野の蘭学について、どのように情報発信しているか。
- 答 弁 歴史博物館で展示を行っている。また歴史講座で取り上げている。大野市の歴史博物館HPで資料紹介もしている。間接的になるが、雑誌の取材を受けた際はPRしている。
- 梅林委員 展示内容が難しく子どもたちが理解できない。DVDなど映像を流すなどして子どもたちの理解が進むよう対応してもらいたい。また、歴史的に見て大野の女性の活躍が素晴らしく、このことについて研究する市民団体も発足している。水本ふさや、林歌子などについて、子どもたちに伝える取り組みをしてほしい。以前に、副読本の作成の検討をお願いしていたが、その後どうなっているか。また林歌子については、水落町に生誕の石碑が道路の際に建てられているが、除雪作業等で破損の恐れがある。観光客も安心して見られる場所ではない。このことについて対策を考えてほしい。
- 答 弁 林歌子の副読本についてその計画はない。子どもたちも理解しやすい簡単な資料を作成し、博物館等での配布を検討したい。また林歌子生誕の石碑については、建設整備課と協議して検討する。
- 梅林委員 以前、県内の中高生に「ふるさと福井の先人100人」という本を配っている。この本では林歌子さんのことは1～2頁しか触れられていない。どのようにPRしていくか、みなさんで是非議論してほしい。林歌子生誕の碑については、その場所が市民の方々や観光客にわかるよう、場所を示す看板の設置を検討し、来年度の予算要求をお願いしたい。
- 答 弁 看板の必要性などを研究し、予算要求について検討する。
- 高岡委員長 越前大野城で販売している御朱印は、大野城で書いてもらえるのか。
- 答 弁 印刷したものを販売している。

【教育総務課】

1 日 時 令和元年9月13日（金）午前11時23分～午後2時18分

1 説明のため出席した者

清水事務局長、横田教育総務課長、千田学校教育審議監、松下学校教育G課長補佐、大久保庶務・施設G課長補佐、竹田学校教育G企画主査、銅庶務・施設G企画主査

1 諸般の報告（清水事務局長）

（1）全国学力・学習調査について

全国の小学校6年生と中学校3年生の全員を対象に、4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が7月31日に公表されました。

小学校では国語と算数、中学校では国語と数学そして初めて英語の調査を実施しました。

これまでは、各教科で知識に関するA問題と、活用に関するB問題に分けて実施していました。新学習指導要領の知識や技能、思考力や判断力を総合的に育成するという考え方に基づき、今年度より一体化した調査になりました。

福井県の平均正答率は、小学校は、国語が全国2位、算数が全国4位、中学校は、国語が全国2位、数学と英語が全国1位の結果となりました。

現在、教育委員会では、文部科学省の調査結果をもとに本市の分析を進めています。

調査結果は、広報おおの10月号と11月号、大野市ホームページで公表する予定です。

昨年同様、市の平均正答率については記号化して公表することとし、併せて学力や学習状況における課題や今後の対応策についても公表いたします。

（2）第10回結の故郷中学生みこしダンスパフォーマンスについて

今年度の中学生みこしダンスパフォーマンスは、お盆の時期に、子どもたちを家庭に帰すことや、8月14日から16日までが学校閉庁日であることなどを考慮し、8月13日に実施しました。猛暑が予想されましたので、実施に当たりましては、いくつかの熱中症対策を講じました。

主な対策としましては、会場を六間通りからめいりんグラウンドに変更しました。六間通りは、アスファルトが非常に高温になることや日陰になる場所がないことなどから、土のグラウンドで、回廊の日陰などを活用しました。

また、昨年度、10時15分開始であったパフォーマンスを9時00分開始に早め、できる限り暑さが厳しくなる前の時間帯に実施しました。

今年度実施した対策などを十分検証し、今後のみこしダンスパフォーマンスのあり方につきまして、検討していきたいと考えています。

（3）第73回大野市小学校連合体育大会について

今回、5年男子1000メートルの部で、下庄小学校の山内 駿平（やまうち しゅんぺい）さんが、大会記録より0秒92速い、3分14秒85の大会新記録を、6年男子100

0メートルの部で有終南小学校の仲谷 空（なかに そら）さんが、大会記録より1秒57速い、3分05秒13の大会新記録を達成しました。なお、仲谷 空さんは同種目で2年連続の大会新記録です。

(4) 小中学校再編計画の見直しの取り組みについて

教育環境に関する意見交換会は、これまで、小中学校15校の保護者と教職員、2つの保育園（開成保育園、上庄保育園）の保護者を対象に開催し、延べ331人に参加をいただいています。

今後の意見交換会は、10月中旬まで、保育所や認定こども園の保護者を対象に開催し、10月下旬から11月中旬まで、各地区の住民の方々を対象に開催する予定です。

小学校6年生及び中学校2年生を対象とした「学校についてのアンケート」は、5月下旬に実施し、現在集計を行っており、準備ができ次第、公表したいと考えています。

(5) 文化会館整備基本設計事業の取り組みについて

教育委員会では、8月6日に開催された区長連合会理事会で、基本計画の概要説明を行い、計画の周知を図りました。また、今年1月に大野地区第3地区区長会長と協議し、文化会館近隣関係区への基本計画の説明については、有明町のみとしたところでしたが、地元関係区への周知が必要であるとのこと指摘もあり、9月17日に開催される近隣10地区の区長が出席する第3地区区長会で、概要説明を行うこととしています。

今後も、市民の方々へ文化会館整備基本計画の周知を図るとともに、総務文教常任委員会において機会をいただき、付帯決議への対応方策やプロポーザル実施要領などについて、委員会のご理解をいただけるよう説明してまいりたいと考えています。

(6) 小学校教育環境整備事業の乾側小学校の耐震対策について

教育委員会では、これまでに地区区長会、未就学児及び小学校の保護者、地区住民の皆様を対象に、合計4回の意見交換会を開催しています。意見交換会では、児童の快適な教育環境の提供やかかる経費を考慮し、複数の方法を示したうえで、ご意見を伺っています。

その結果、まずは、冬季の積雪を考えるとともに、乾側小学校の児童がのびのびと楽しく学校生活を送れるよう、旧蕨生小学校で授業を行いたいと考え、かかる経費を9月補正予算案に計上しております。

耐震対策につきましては、引き続き保護者や地区住民のご理解をいただきながら、校舎の耐震対策を早急に進め、12月議会には耐震対策にかかる経費を計上したいと考えています。

(7) 結の故郷奨学金について

本奨学金は、平成26年9月に大野市結の故郷奨学金貸与条例を制定し、平成27年度から貸与を開始しています。本年度で5年目となり、貸与者数は、延べ224人、貸与実績額は本年8月末現在で、89,640千円となっています。

後ほどご説明させていただきますが、教育委員会では、本奨学金の今後の事業継続について検討した結果、今年度で奨学金の募集を終了したいと考えています。

1 付議事案及び結果

○議案第56号 令和元年度大野市一般会計補正予算（第2号）案のうち教育総務課関係分
小学校教育環境整備事業（乾側小学校の耐震対策）に係る補正予算について、別紙「旧蕨生
小学校での授業の実施について」で事業概要を説明。

— 全会一致で可決 —

○陳情7号 大野市文化会館建設計画見直しの陳情

別紙『「大野市文化会館建設計画見直しの陳情書」に対する考え方』のとおり、教育委員会の
考えを説明。

— 継続審議2人により少数で否決 —

— 採択0人により全会一致で不採択 —（梅林委員退席）

○要望書 文化会館の整備に関する要望

別紙『「文化会館の整備に関する要望書」に対する考え方』のとおり、教育委員会の考えを説
明。

○その他 結の故郷奨学金について

別紙「結の故郷奨学金について」で、今年度で募集を終了することを説明。

1 審議の過程における主な意見（質疑）及び答弁

○議案第56号について

榮 委員 国は消費税増税に併せて保育料無償化を掲げているが、保育料の中の副食費4,500
円は個人負担となっている。保育料には食育は入っていると思っていた。学校の
食育は予算化して進めている。保育所の食育はいらぬという考えか。

答 弁 幼保推進事業で近年、保育所と小学校で連携を進めており、食育連携は大切であ
ると考えている。

榮 委員 市長会などを通じて言って欲しい。

答 弁 福祉こども課と連携して、国・県へ要望していきたい。

梅林委員 乾側小の給食を富田小で作ってもらうということだが、指定管理料はどうなるの
か。

答 弁 給食の業務委託を行っている。委託先のハッピーライフと協議して、契約変更な
どをしていきたい。

梅林委員 業務委託料はどうなるのか。

答 弁 契約の範囲内で対応をしていきたい。

梅林委員 調理は富田小の業務委託の範囲内でやってもらうのか。

答 弁 業務委託のほとんどは人件費であり、乾側小の調理師が富田小へ行って作ってい
ただくことになる。

梅林委員 メニューは富田小と一緒にするのか。
 答 弁 一緒になる。
 梅林委員 全部で何食作るのか。
 答 弁 富田小児童は110人、乾側小児童は16人、その他教職員がいるため、150食前後となる。
 梅林委員 富田小も戸惑うと思うので、事前に話をしながら進めて欲しい。

廣瀬委員 乾側小の児童は、12月2日から旧蕨生小に移るのか。
 答 弁 そのように考えている。
 廣瀬委員 11月いっぱいまで授業があると思う。土日で引越しをするのか。
 答 弁 そのように考えている。

廣田副委員長 補正予算（乾側小の耐震対策）の経費は、12月から来年3月までの分か。
 答 弁 来年3月までの費用である。
 廣田副委員長 乾側小の登下校でスクールバスではなく、乗り合いバス（ハイエース）を利用し大門地区から1台、丁地区から1台の計2台の方が時間短縮になり、経費も下がるのではないかと。
 答 弁 検討していきたい。バス1台で全員と一緒に登校することも大事と考えている。コスト的にハイエース2台の方が安全面やコスト面でメリットがあるのなら、そちらを選んで欲しい。
 答 弁 補正予算を認めていただいた後、乾側地区と検討していきたい。
 廣瀬委員 大門地区の児童はバスに30分乗ることになる。小学校の子どもなので、2台にすれば所要時間も短くなる。考慮してほしい。
 答 弁 検討していく。
 高岡委員長 食育で5つの味覚は何か。
 答 弁 苦味、甘味、うま味、酸味、塩味である。
 高岡委員長 5つの味覚のうち、表現が変わったと聞いているが。
 答 弁 調べて報告する。
 （その他で報告）味覚の授業に入っている栄養教諭に確認した結果、小学校の授業では苦味、甘味、うま味、酸味、塩味をそのまま行っている。新たに中学校2年に、脂味を取り入れていこうという県の方針がある。

○陳情7号について

榮 委員 本会議で、議員全員協議会において（文化会館整備基本設計事業の）予算案の説明をしっかりとすべきではないかとの質問に対し、（理事者は総務文教常任）委員会で説明不足であったと答弁したが、それはどうか。（確認してもらえるか。）
 答 弁 前回の総務文教常任委員会では、榮議員から「（平成31年）2月7日に（文化会館整備基本計画（案）の）説明会をしたというのが選挙の最中である。63人の参加で承諾を得たとして文化会館整備基本設計事業予算案を提案するのは感覚が

ずれているのではないか。」という質問に対して、「パブリックコメントを2月1日から実施し、期間中に説明会を行い、計画案の周知を図りました。」と答えている。榮議員からは「それはそちらの都合である。そのように物事を進めるからこのようなことになる。付帯決議がついたから資料を提出するのはおかしい。予算の時に出すべきである。」と指摘があり、当方は「今後丁寧な説明に努める。」と答弁している。

榮 委員 提案した予算について、提案理由のどこにあるのか。

答 弁 手元に資料がないため、確認ができない。

榮 委員 調べて報告してくれるのか。

答 弁 調べて報告する。

梅林委員 今の件に関して、時系列で報告して欲しい。

高岡委員長 次の議会までに提出をして欲しい。

白崎委員 大野地区第3地区へ説明に行くと言っている。教育委員会でも付帯決議の内容を十分に理解し取り組んでいる。会派では計画の見直しまでは求めている。（陳情について）不採択としたい。

梅林委員 会派で慎重に議論した。継続審議である。計画の見直しまで戻らないといけないという要因も付帯決議に入っていると思う。そういうことを加味して、拙速に結論を出すということではなく継続で時間をいただきたい。

榮 議員 慎重な審議が必要である。継続で。

廣瀬議員 3月議会で予算としては認めた。認めるけど付帯をつけた。予算を通すという立場であると考えている。基本的には進めてもらえればと思う。

廣田副委員長 付帯決議は、基本設計の取組みについて付けている。基本計画まで戻るとは3月議会では決定していない。この陳情を認めると委員会が混乱する。よって不採択とする。

梅林委員 混乱の意味が分からない。市民からどちらの意見も出てきている。9月17日に地区への意見を聞きに行く。そこでの意見を聞かずに拙速に不採択というのは納得がいかない。基本計画まで戻さないといけないような、市民の何らかの思いがあるのかもしれない。真摯に聞くべきであると思う。

○要望について

質問等は特になし。

○結の故郷奨学金について

白崎委員 日本学生支援機構の奨学金は、市民でなくても誰でも使える。結の故郷奨学金は市民のメリットである。これが大野で子どもを育てていくという動機付けにもなる。人口減少をさらに加速させていく気がするがどうか。

答 弁 経済的負担という面では、日本学生支援機構などの奨学金を使っていただく。帰郷の大きな要因となっていない。Uターン施策を令和2年度の当初予算に向けて企画していきたいと考えている。

白崎委員 帰郷だけが人口減少対策ではない。今、大野に住んでいる人、親に対する支援でもある。今、大野に居る人が出て行かない対策をしていかないといけない。こんなにいい制度をなぜ止めないといけないのかと疑問に思う。

答 弁 日本学生支援機構の無利子奨学金制度などが本奨学金の後継になると思っている。子ども子育て支援、そしてIターン・Uターン施策を合わせて、大野に住み続けたいと思っていただけるような事業を考えていきたいと思っている。

白崎委員 定住を促す、市民であるメリットを実感できる制度を考えていただきたい。

廣瀬委員 この奨学金は続けて欲しかったと思う。新しい施策と本奨学金を並べて検討することが出来ないため、議論の余地がない。

答 弁 国の奨学金の新しい施策が来年度から始まるため、このタイミングで止めることとした。これから（来年度に大学などに入学する）学生に対して、来年度の募集をしていかないといけないため、この時期に決断をしないといけない。

廣瀬委員 高校3年生の親は、この奨学金があると思っている。今から、奨学金を止めるということを言うのか。

答 弁 各学校にこれから説明をする予定である。

廣瀬委員 早めに伝えた方が良いと思う。

答 弁 保護者には早速お知らせして、丁寧な説明を行いたい。

梅林委員 本制度の立ち上げの時、減免や免除などの条件付きに賛成出来なかった。子どもたちが進学をあきらめるようなことにならないように、特に母子家庭の子どもで進学をあきらめてしまう場合もあるので、水際で救っていただきたい。

1 その他の事項について

梅林委員 青少年教育センターでいじめのメールを受け付けることとなっていたが、現状はどうか。

答 弁 ICT支援員を配置していたが、昨年度から打ち切っている。いじめ相談メールについては、所長が教育委員会と連携し回答している。

梅林委員 昨年は何件ぐらい、受け付けているか。

答 弁 後ほど報告する。（3件と報告済み）

梅林委員 夏休み明けの子どもの自殺が取り上げられている。国は自殺対策基本計画の策定を各自治体に義務付けした。福祉こども課の方で基本計画だけを作るのではなく、他の計画の中に盛り込んで作るらしい。教育委員会は、計画の策定にどのように取り組んでいく予定か。

答 弁 福祉こども課と連携を取りながら、どのような計画の持ち方をするか、教育委員会も加わりながら話をしていきたい。

梅林委員 池田町池田中学校の悲しい出来事と若狭町上中中学校の教諭の判決などについて、このような出来事は二度と起こしてはいけない。教育委員会事務局における各学校への周知や対応、指導喚起をどのようにしているか。

答 弁 いじめに関しては、8月下旬に各小中学校へ不登校も含めて、子どもたち1人1人に目配りをしてほしいという通知や8月下旬に開催した教頭会でも注意を促し

ている。

上中中学校に関しては、県で校長などを集めた研修会を8月上旬に開いている。市では教職員に対して「早く帰るように」と言うだけでは駄目であり、校長の気持ちを揃えながら市全体で一体となり、長時間勤務になる教職員についてはその要因をしっかりと把握し、校務分掌の見直しなどを行いながら1人の教職員に負担過重にならないよう働き方改革に努めている。

白崎委員 乾側小学校の耐震対策に係る意見交換会4回のメンバーと、どのような意見が出ているかを教えて欲しい。

答 弁 1回目は乾側地区区長会、2回目は乾側小学校の保護者を対象に、学校再編の意見交換会の後に実施、3回目は乾側小学校の保護者に未就学児の保護者を加えて実施、4回目は地区住民の方を対象に開催している。意見では、区長会では教育委員会が提案した「軽量鉄骨校舎が良いのではないか」や「再編を進めて欲しい」などが、乾側小学校保護者からは「全棟耐震をして欲しい」という意見が多かった。未就学児の保護者からは「先行再編をして欲しい」という意見が出ている。地区住民からは、軽量鉄骨校舎に賛同された方もいたが、「保護者の意見を優先して欲しい」という意見が多かった。

白崎委員 学校再編の意見交換会について、3月定例会で要望があれば伺うと言っていたが、実績はあるのか。

答 弁 8月末に菖蒲池区のサロンで実施し、9月末に大野地区第1地区のまちづくり懇談会、10月2日に大野の未来を考える会で学校再編の説明を行い、意見を伺う予定である。

梅林委員 私は学校教育審議会の委員をしていた。答申を出した後、計画（案）を見て驚愕した。審議会として教育委員会から説明を受けるべきだった。これにより、市民の不安、行政への不信感、議会に対する信頼感、これらが失墜した。答申にも書いていないことがどうして計画（案）に出たのか。これに対する行政の責任は非常に重い。だから、再編がここまで延びている。行政は真摯に受け止めて欲しい。勝山市は、審議会から出ている答申を市民に説明している。計画の見直しをしているが、市民と一緒に合意形成を行い進めて欲しい。